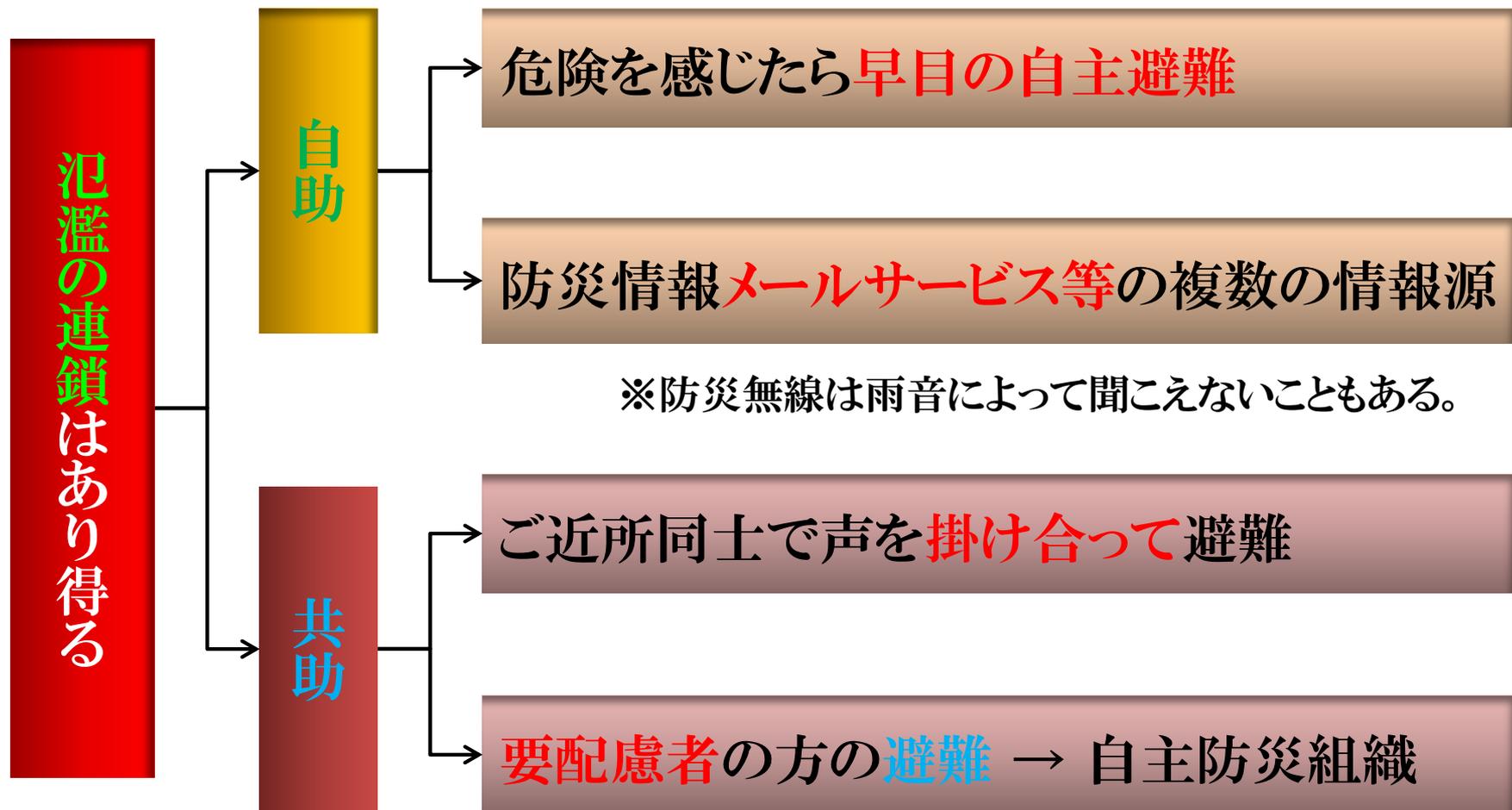


第6章

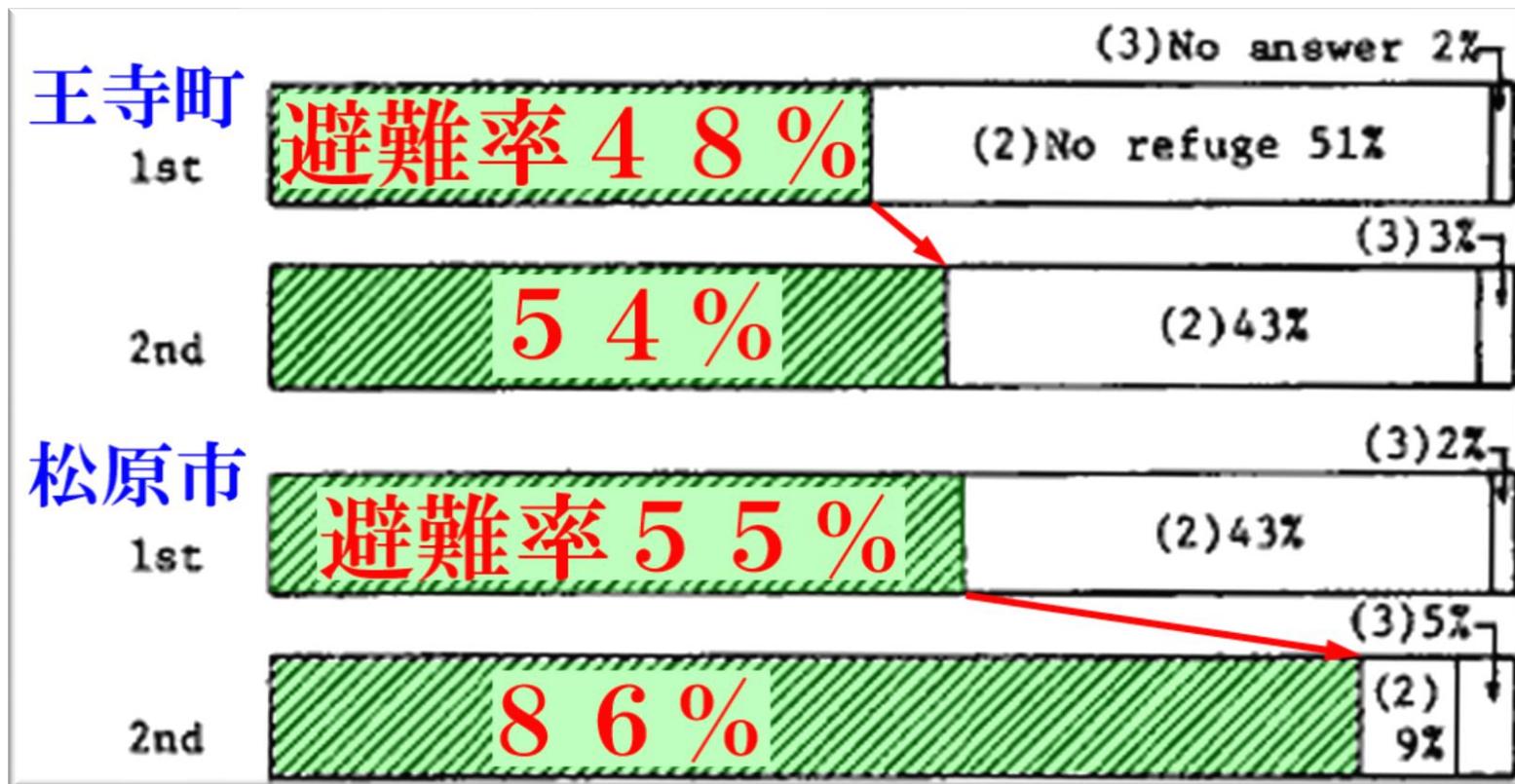
避難行動のあり方

今後の避難行動のご提案



昭和57年豪雨における避難率

京都大学防災研究所の今本先生らの調査結果



昭和と平成の相違・・・行動力・住民間の繋がりの低下？

まとめ（全体）

被災者が生還できる可能性は、

若さ → 変えられる

他者愛の強さ → 変えられる

備えの程度

によって決まる。

自助・共助の強化で変えられる